令和○年第○号

遺言公正証書

本公証人は、遺言者甲野太郎の嘱託により、後記証人2名の立会のもと、次の遺言の趣旨の口授を筆記し、この証書を作成する。

遺言の趣旨

1　遺言者は、下記の不動産を遺言者の長男甲野一郎（昭和49年9月9日生）に相続させ、当該不動産についての配偶者居住権を妻甲野花子（昭和26年7月1日生）に取得させる。

記

所　　在　　○○県○○市○○町○丁目
地　　番　　1番1
地　　目　　宅地
地　　積　　335．0㎡

所　　在　　○○県○○市○○町○丁目○番○
家屋番号　　1番1
種　　類　　居宅
構　　造　　木造瓦葺2階建
床 面 積　　1階　100．82㎡　2階　62．1㎡

2　遺言者は、二男甲野二郎（昭和51年1月1日生）に、○○証券株式会社○○支店に預託している次の株式を相続させる。
○○株式会社の株式　10，000株

3　遺言者は、長女大坂知子（昭和53年3月3日生）に、次の預金を相続させる。
○○銀行○○支店　定期預金　口座番号123456

4　遺言者は、その他遺言者に属する一切の財産を、妻甲野花子（昭和26年7月1日生）に相続させる。

5　遺言者は、長男甲野一郎（昭和49年9月9日生）を、甲野家の祭祀承継者に指定する。

以上

以上のとおり読み聞かせ筆記した内容を伝えたところ、出席者は各自その記載に誤りがないことを承認し、次にそれぞれ署名押印する。

遺言者　甲野太郎　（実印）

証人　　○○○○　　㊞

証人　　○○○○　　㊞

この証書は、令和○年○月○日、公証役場において民法第969条第1号ないし第4号の方式に従って作成し、同条第5号の規定に基づき本公証人は、次に署名押印する。

○○法務局所属

公証人　　○○○○　㊞